

令和5年度 第4回 西宮市公共事業評価委員会

西部総合処理センター焼却施設整備事業

(事前評価)

議事録

開催日：令和6年2月9日（金）

開催場所：西宮市役所本庁4階442会議室

(西宮市六湛寺町10番3号)

令和5年度 第3回 西宮市公共事業評価委員会

1 開催日時

令和6年2月9日（金） 13時00分から15時31分まで

2 開催場所

審議：西宮市役所 442 会議室（西宮市六湛寺町 10 番 3 号）

視察：西部総合処理センター（西宮市西宮浜 3 丁目）

3 審議内容

西部総合処理センター焼却施設整備事業（事前評価）

4 出席委員

- | | | |
|---------|-------|---------------|
| (1) 会 長 | 岸野 啓一 | （流通科学大学 特任教授） |
| (2) 委 員 | 尾崎 平 | （関西大学 教授） |
| (3) 委 員 | 安枝 英俊 | （兵庫県立大学 教授） |
| (4) 委 員 | 山本 親 | （武庫川女子大学 教授） |

5 出席者

（担当課）

施設整備課

- | | |
|------|-------|
| 課 長 | 高橋 能正 |
| 担当課長 | 塩山 哲夫 |
| 担当課長 | 太田 智之 |
| 係 長 | 藤田 直希 |
| 係 長 | 森本 雅樹 |
| 係 長 | 堀 和彦 |

（事務局）

政策局

- | | |
|-------|--------|
| 参 与 | 吉田 巖一郎 |
| 政策推進課 | |
| 担当課長 | 武林 秀孝 |
| 係 長 | 森近 直祐 |

6 議事録

事務局 定刻となりましたので、ただいまより令和5年度第4回西宮市公共事業評価委員会を始めさせていただきます。本日は西部総合処理センター焼却施設整備事業の現地視察及び審議となりますので、よろしくお願いいたします。

本日の流れとしましては、まず初めに現地へご移動いただき、担当部署から評価シートに沿って事業の内容説明を行います。その後、現地を視察し、市役所に戻り審議となります。審議につきましては、委員の皆様からの質疑応答の後、評価シートに沿ってご審議をいただきまして、委員会の総合判断をまとめていただきたいと思いますと考えております。本事業評価をいただくに当たりましての公共事業評価委員会への諮問は、事前にメールにてお送りしております。

それでは、ここから岸野会長に議事の進行をお願いしたいと思います。岸野会長、よろしくお願いいたします。

会 長 では、議事を始めさせていただきます。まず初めに本日ご出席いただいている先生方ですが、委員6名中4名の先生方にご出席いただいております。開催要件であります半数以上に達していますので、西宮市附属機関条例第3条第5項の規定により当委員会が成立していることをまずご報告いたします。

また会議録の署名委員につきましては、本委員会の運営要領第5条で会長が署名委員を指名することとなっております。本日は尾崎先生をお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。

委 員 承知いたしました。よろしくお願いいたします。

会 長 よろしくよろしくお願いいたします。傍聴を希望する方はいらっしゃいますか。

事務局 希望者はございません。

会 長 それでは現地へご移動の準備をお願いいたします。

《現地へ移動後担当課より事業説明》

会 長 ありがとうございます。ご質問等は施設見学を終え、市役所へ戻ってからお聞きしたいと思います。それでは、施設見学のご準備をよろしくお願いいたします。

《現地確認後市役所本庁へ移動審議》

会 長 委員の皆さま、現地視察お疲れ様でした。所管課の皆さまも、現場でのご説明ありがとうございました。

では最初に、現場でのご説明並びに視察を通じまして、委員の先生方からご質問がございましたら、どなたからでも結構ですのでよろしくお願いいたします。

委 員 今年度中に生活環境影響調査を実施されるとのことですが、こちらの内容について教えてください。

担当課 生活環境影響調査は、令和6年度まで実施いたします。内容としましては、煙突からの排ガスによる影響の予測や、また、ごみ収集車が集まってくることから、ごみ収集車が通る経路上における環境、騒音、振動等の調査・予測、加えて、施設の中には騒音・振動が大きくなると考えられる機械を設置しますので、それらが近隣へどのように影響を及ぼすかということ調査していく予定となっています。

委員 ありがとうございます。これについては、6, 200万円や390万円など合計でおよそ7, 000万円近い費用が計上されていますが、妥当なのでしょうか。

担当課 予算額ベースですので、実際はもう少し安い金額で契約している現状です。他市の事例等と比較しても妥当な金額かと考えております。実際の契約金額につきましては、手元に資料がありませんので、申し訳ありませんがすぐにはお答えいたしかねます。

会長 ありがとうございます。先生よろしいでしょうか。

委員 はい。もう一つ。「発注支援業務」とは何でしょうか。この資料1の「事業の年度別計画」の中の項目で「生活環境影響調査」の下に「発注支援業務」とあるのですが、何を発注するのでしょうか。

担当課 次の事業者を選定するにあたって、その契約内容や発注する次の実施方針といったものを取りまとめるためのコンサル業務委託です。

委員 コンサルに対する費用ということですか。

担当課 はい。補足させていただきます。この事業は、総合評価方式で事業者を選定いたしますが、選定するにあたりまして、必要な要求水準書、契約書、加えて事業者から出てきた提案の評価を行う業務等を含めまして、「発注者支援業務」としてしております。これを、令和6年度から8年度までの3か年契約として実施する旨、記載しております。

会長 先生いかがでしょうか。

委員 はい。内容については、そういうものなのかなとは思いました。

会長 私も少々金額が高いと感じましたが。

委員 そうですね。金額についてはそう感じますが、業務内容から察するに必要な経費でしょうね。

担当課 契約書など一から作るというような状態ですので、専門家であるコンサルタントに頼んでおります。

委員 土木コンサルタントみたいなところですか。

担当課 廃棄物を専門としているコンサルタントが多いです。

会長 恐縮ですが、そういう発注業務や評価というものは、本来、市の内部業務であり、そういうことを専門とされている職員の方もいらっしゃるはずですよ。

担当課 おります。ただ、「発注者支援業務」ということで、私たちが発注者になっておりますので、それに関していろんな支援をしてもらおうという業務です。

会長 例えば先ほどのご説明の中で気になりましたのは、契約書の作成などは市の本来業務ではないのでしょうかということです。そういったことを専門とする法務関係の職員もいらっしゃるよ。

担当課 私たちの方でも、過去の経験からある程度作ることができます。ただ、西宮市の中でワーキ

ングチーム会議があり、その中には法制、契約管理などのメンバーも加わっており、そういったものを作り上げていくこととなっておりますが、その下書きとなるようなものを作っていたのはコンサル業者としております。

会 長 委員の1人として、そういう必要性は考えられますがこの金額の妥当性については少し高いのではないかと感じています。

担当課 金額の妥当性に関しましては、他市の事例に鑑みましても特段本件が高額になっているということはないと考えています。

会 長 そういう見解であると理解しました。他にご意見はございますか。

担当課 すいません。1点補足です。先ほどの生活環境影響調査の契約金額の件ですが、税込みで2,838万円にて契約を行っておりました。

委 員 令和6年度の6,259万円と比べると、半分以下ですね。

担当課 はい。そのとおりです。これは予算時点の数字で、内容を精査して発注したところ契約金額では落ちたという状況です。

委 員 最近の相場というのがよく分からないのですが、3,000万円を割る金額だと、私の感覚としては、違和感はないという感想です。

会 長 ありがとうございます。そこの部分については私も同感です。6,000万、7,000万はさすがに高いと思うのですが、だからといって1,000万でできるかといったらそれは無理だと思いますので、2千数百万円というのは妥当なところだとは感じます。他にご質問はございますか。

委 員 事業スケジュールの記載内容のうちの事業者選定のことなのですが、事業者というのはプラント業者になるのでしょうか。選定対象というのは。

担当課 はい。

委 員 設計施工とうことで、プラント業者が土工事も一緒に請け負うという風に考えてよろしいですか。

担当課 はい。

委 員 分かりました。選定業務が、令和8年度の初夏、第一四半期まで公告入札して、それで業者決定が令和8年度の6月ということになりますか。7月入札公告ですか。令和8年の4月に、業者決定ですね。

担当課 4月に総合評価で候補を選定し、仮契約の後、6月市会の議決で契約するという形になります。

委 員 これは設計施工で受注するわけですね。

担当課 「DB（デザインビルド）」プラスで、「O（オペレーション）」ですね。

委 員 「O」も入るのですか。

担当課 「O」も一部入ります。

委 員 なるほど、ここから実施設計が始まるということなのですね。

会 長 よろしいでしょうか。

委 員 はい。ありがとうございます。

会 長 他にご質問はございますか。

委員 今の焼却施設が平成9年に竣工して、26年経過しても新しく更新するということが、意外と使える期間は短いのだなという感覚です。建物は百年時代という風に昨今言われていますが、次期施設というのも、毎日焼却するということを考えると、25年ぐらいで建て替えることになるのか、あるいは次のものはもう少しいろんな技術の改良がされていて長く使えるのでしょうか。その辺りが資料の中から読み取ることができなかったのも、もしお分かりであれば教えていただきたいと思います。新しい施設では、今までのプロセスを簡略化し、効率が良くなるとご説明いただいたのですが、建物そのもの、施設そのものが使える年限に関して、何かビジョンがございましたら教えてください。

担当課 建物自体は40年使えることを想定しております。ただし、設備はさすがに40年というのは難しいと考えておりますので、途中で基幹改良等を踏まえた上で、施設全体を40年維持する計画です。

委員 25年経過した時点で中の設備を入れ替えるというようなことですかね。スケルトンではもう少し長く使えるという考えだと思うのですが、スケルトンで、40年ではなくてもっと長いビジョンで見てもよいのではないかと思いました。40年とされている背景は何でしょうか。

担当課 「建物自体の場合は、40年使える」とお答えしましたけれども、建物自体でいうともっと長い期間維持できると思います。先にプラント設備の主要部分の耐用年数を迎えるため、建物自体を維持しても大きな意味を持ってこないという風に考えております。

委員 なるほど。設備のみを更新するというのはなかなか難しく、基本的に設備を更新するときには、スケルトンも大部分更新することが前提になってくるという風な理解でよろしいですか。

担当課 そうですね。更新するには、ごみ処理というのは続けていかなければいけないということがありながら、中だけ替えるということの難しさなどを鑑みて、そのように考えております。

委員 なるほど。分かりました。

会長 ありがとうございます。他にご質問はございますか。

委員 一つは次の施設の施設規模の件で、今現状でいうと西部と東部合わせると800t近いものが将来的に統合されるということですが、新施設では525tということなので、7割弱65%ぐらいになります。この間、20年前、10年前に比べてごみもずいぶん減ってきてはいると思いますが、担当課が書かれていたリスクの部分の「何かあったときの処理の話」で、先般の能登のような地震や、水害などがあったときのごみ焼却リスクもあると思います。そういう災害に対する対応はなかなか十分検討するのは難しいとは思いますが、かなり縮小されるということに対する施設規模に関しては、かなり議論されて、この数字になっているのかということをお教えてください。

もう一つが、資料1の様式2号で、裏面にある施設規模とお金の話をさせていただいたところですが、近隣市等の類似事例として、処理能力当たりの単価を記載いただいています。今の東部の例だと1tあたり4、200万ぐらいですよ。それが本件でいうと、1億2、800万ぐらいの規模になっているということですが、日本環境衛生センターのデータを見

ると、ちょっと割高かなと感じます。近年確かに右肩上がり価格上昇していて、処理能力当たりの東部の単価は、当時の価格でいうとこれぐらいの線にあるのが、今だと8,000から1億ぐらいの間に分布がどうもあるみたいなのですが、それに比べると少し金額が割高になっているようです。これは予算なのでちょっと割高に積んでいるのか、もう少し先になるので、そこを見越してという理解なのか。金額の話と規模の話を教えてください。

担当課

まず、施設規模についてですが、直近までのデータとして、過去5年の数字から予測している部分と、指定袋を導入したこともありまして、その減量効果と、あとは製品プラスチックの回収ということで、令和8年度から始まる予定の部分までを見越して、ごみ量の本集計をした結果から、今の472t/日と算出しております。こちらについては、人口の減少を加味したデータから算出しています。

委員

今、1人当たり何キログラムぐらいですか。

担当課

令和14年度の想定で、可燃ごみでは1人646.9グラムです。

委員

それは家庭ごみだけの数値ではないですか。全体ではいくらになりますか。

担当課

家庭ごみと事業系ごみの可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみのすべてで算出いたしますと、753.8グラムです。

委員

分かりました。平均よりは少々多いのでしょうか。

担当課

若干ですが、西宮市は多いです。

委員

そうですね。

担当課

今、一般廃棄物処理基本計画というのを立てておりまして、平成28年度比で、生活ごみが10%、事業系ごみが20%の減量を行っております。補足ですが、先ほど処理施設が525t/日と280t/日で足していくらというお話でしたが、もう既に大分ごみが減っておりまして、西部総合処理センターのほうは一炉止めております。また、令和4年度に、指定ごみ袋制度というのを開始しまして、またこの2年ほどで大分減っております。今のごみ量で計算しますと、施設規模としては500t/日程度ぐらいまで落ちてきています。あと、令和8年度にごみ区分の見直しを行って、先ほどお伝えしたプラスチックや、紙ごみなんかの分別の促進を図っていきます。人口が思ったよりも減っているということを加味すると、472t/日というのが今の最新の値となっております。

委員

2040年や45年は、西宮市の人口はどうなる予測でしょうか。

担当課

減っていく見込みです。

委員

もう既に減っておりますか。

担当課

もう既に下降気味になっておりまして、西宮市第5次総合計画を立てた際にも人口減を予測して見込みを立てておりましたが、最新の値では見込みよりも更に人口が減となっているということなので、それを加味しますと472t/日程度というのが妥当であると考えております。

委員

分かりました。減量の効果も効くし、人口減も勘案してということですね。

担当課

はい。分別の徹底と、人口減です。

委員

だから、470t/日ぐらいの見込みでよいということですか。

担当課

今のところはそう考えております。公告を出す際、また下がっているようであれば、再度見

直しを行う予定です。

委員
担当課

高齢化はどんな状況でしょうか。

高齢化については進んではいると思いますが、そちらはあまり施設規模へは反映されてお
りません。

委員

あまり考慮されていませんということですか。今言われるのは、高齢化が進むと、食品ロス
と大人用おむつが増える傾向にあるということです。単身一人世帯が増えると、実はそんな
にごみ量が減らないのではないかということ。人口は減るけれども、ボリュームはそんなに
減らないのではないかということ、報告が出ていたりするので、その辺の考慮をどれぐらい
するかなという視点もあるかもしれません。7、8ポイントぐらいは高齢化率が上がるので
はないかと。おそらく、今23、24%ぐらい、今後33%とか34%ぐらいにはなると思
うので、ごみとかエネルギーでは単身・高齢者が増えるとどうしても消費量が増えたり、排
出が増えたりするので、施設処理規模の妥当性に関してその辺の影響が、あるかとは思いま
すが、でもおそらくそんなに外れることはないと思います。

あと、金額のほうはいかがでしょう。

担当課

金額については、先ほどの日本環境衛生センターの数値よりもさらに直近のデータを基に
しております、それと撤去部分も含んでいますので、多少割高になっています。

委員
会長
委員

分かりました。ありがとうございます。

他にございますか。

先ほどの私の質問の続きで、今回新しく新設する施設は、おそらく30年弱ぐらいが耐用
年数で、これがもしまた除却することになったら、今施設があるところ、つまりしばらくは
災害廃棄物置場になるところに、また建物を新設するというようなことで、除却・新設とい
うのは、右側の敷地と左側と敷地で繰り返しながら更新していくという、そういうストーリ
ーの理解でよろしいですか。あるいはもうこの場所そのものがもう少しあり方が変わって
くるとか、何かその辺りというのは、今議論することじゃないかもしれませんが、気になり
ましたので、お分かりであれば教えてください。

担当課

はい。次の施設自体はまだ決定しているものではないのですが、この用地以外に東部総合
処理センターの跡地もございますので、それら全体を含めて今後検討していくこととなり
ます。用地としてはこちら以外のところもありますので、先ほどの回答も含めて検討してい
きたいと思います。

委員
担当課

わかりました。

理想的には、焼却施設と破碎施設が隣同士にあるほうが破碎施設で破碎した後の破片残渣
というのを運び込めますので、その辺りも含めての検討が必要かなと思っております。

委員
会長

なるほど。分かりました。ありがとうございます。

よろしいですか。先生のご質問内容に関連しまして、ごみのことはあまり詳しくありませ
んが、将来人口について少し補足させていただきます。少子高齢化、人口減少と言われてい
ますけれども、出生率が低下することによって子供を中心に若い世代の人口が今後減って
いくこととなります。一方で、団塊世代が75歳ぐらいになりましたが、お元気でいらっし
やる方が多いため、高齢人口が増えていますその下に私のような60代の予備軍がいます

ので、高齢者、特に後期高齢者は今後さらに増えていきます。ですから、10年後に施設が完成してさらに20年使われるというタイムスパンで考えると、稼働し始めた頃は、人口は減っているかもしれないけれども高齢者が増えて若い人が減っているという状態になると思います。西宮市の人口構成はよく存じてはおりませんが、想像するとおそらく四、五十代の方がまだたくさんいらっしゃると思いますので、高齢人口が増えるというのはおそらく確かだと思えます。

高齢者と若い方のごみの出方というのは、先ほども先生からご指摘があったようなことがあるかと思えます。特に、これは個人的なこともあります。私の母親が認知症になって介護施設にいたのですが、やはりおむつの量は半端ではないです。世話をしている家族と一緒に同居できる体制だと多少頻りにトイレに連れていったりできるかと思えますが、そういう形もなくなってきて単身高齢者が増えてくると、施設のお世話になる人が増え、どうしてもおむつの量が増えてくるといえることがあるのかなと感じています。

また、人口が減少していくということに対し市の政策だけではいかんともしがたいところがありますが、労働力人口が減っていく中で、今の技能実習生の制度を改善するといったことが政府でも検討されているようです。今は希望出生率1.8を目指して日本人の人口を増やそうとしているのですが、それもなかなか想定通りに出生率が増えるとは思えません。そうなるとどうしても外国人の受け入れという話になってきます。外国人労働者が増えてくると、日本人の人口は減少しても、そういう生活者が増えてくる可能性があります。このようなことをこの計画に反映すべきかどうかは別として、人口が減っていくばかりではない可能性があるということは、ちょっとどこかで意識されておかれたほうがよいかなと思っております。これに対してお答えをという話ではなくて、懸念というほどではないですが、そうなると見通しが狂ってくるということになると困るので、何かの折に参考にしていただければと思っております。

あともう一点だけ。建設コストも今上がっています。建設関係の労働力不足が言われています。こうした中、今想定されている建設費というのが、現状では想定できないと思うのですが、もし単価が上がってきたら、この年度計画や予算計画というのは、見直されるのかどうか。その辺りのご見解を教えてくださいたいと思います。

担当課

選定作業を進めていくぐらいの期間までは、一旦今回の事業費で進めていけると考えているところではございますが、やはり契約してから20年という非常に長い事業にもなりますし、工事自体も5年、6年ありますので、その中で毎年値上がりに対応していかざるを得ないのかなというようには考えています。金額が上がった分は、対応をしていかざるを得ないと思っています。

会 長

かなりの金額ですよ。

担当課

そうですね、整備費として。

会 長

そうなると、他の例えば1,000万の事業は2,3割変わって1,200万になった、というようなことであればまだ問題は大きくはないとは思いますが、今回の計画のような全体金額の非常に大きい事業ではどのように評価されておりますか。

担当課

今後の物価指数がどうなるかということに関しましては、我々も当然、事業者も分から

ないということしか言いようがないのかもしれませんが。ただ私たちの立場としましては、できる限り無駄のない設備を、発注寸前まで仕様を決めていく中で、コストのかかるところに関しては、できる限り抑えていきたいと思っておりますし、建設費用とは少し別の話にはなりますが、今、ごみ処理にかかる手数料関係などごみ処理事業全体を見回して、費用のかかっている部分について、お金をいただいていくような施策を検討していかなければならないという風に考えておまして、その辺は建設費用だけではなく、全体を見て対応していきたいというような思いは持っております。

会 長 はい、分かりました。少々不躰な質問で、またお答え難いことをお聞きしてすみませんでした。

他の先生方、ご質問はございますか。

委 員 売電のコストは今回入っていないのですか。

担当課 入っていないです。

委 員 今、売電額はいくらですか。単価でいうと5円でしょうか。

担当課 西部と東部でFit(固定買取制度)とFitの認定を受けていないものとで別れてしまうのですが、Fitの認定を受けていない西部ですと、7円から9円ぐらいです。Fitの認定を受けている東部ですと12円から13円ぐらいです。

委 員 今回計画のものについては、Fitの認定にはならないですね。

担当課 はい。ですが次に適用できる制度のところについては対応していきたいと考えています。

委 員 それはここの事業計画の収入みたいな部分には載ってこないわけですか。

担当課 売電収入の計上は事業計画には載っていません。

委 員 はい、分かりました。

あとは、先ほどのおむつとプラの件は、要はおむつが増えるということは、カロリーの低いものが基本的には増えて、その他プラを令和8年から取ると、カロリーの高いものが抜けるので、ごみ質のカロリーが多分低下をしたいと思います。それぐらいの変動は吸収できるものなのか、維持管理費として実は本来は検討をしないといけないものなのか、この辺りはいかがですか。

担当課 ごみ質の設定の時点で、通常でしたら正規分布の90%のやり方でやるのですが、将来的にはプラが減っていくだろうという予想がありますので、上限を固定して、下限を低質の方、下にしていくような形で考えて今の設定にしております。

委 員 分かりました。ありがとうございます。

会 長 よろしいでしょうか。もしご質問がないようでしたら、この様式7号の事業評価シートを埋めていくというところに移りたいのですが、よろしいでしょうか。

委員一同 はい。

会 長 では、様式7号「西宮市公共事業評価シート」、これにつきまして、先生方のご意見を踏まえながら進めていきたいと思っております。

最初に、様式1号に書かれております「事業の目的・内容」は、これが妥当かどうかという評価のところはいつもと同じですが、「◎・○・△・×」ということで、◎と○が適当である。△が改善を要する。×が不適當ということでございます。まずこの事業の目的内容につ

きましては、○か◎であるかと思いますがいかがでしょうか。この焼却施設の建て替えが不要であるとは到底考えられませんし、現地を見させていただいて、あるいは計画の内容をお聞きしまして、先ほどの議論を踏まえ、何か特段改善を要するというものでもなさそうなので、○か◎であるかと思いますが、先生方がいかがでしょうか。

委員 ◎でよろしいかと。

会長 みなさん、◎でよろしいでしょうか。では、◎という形にさせていただきます。理由といたしましては、様式3号に事業の必要性が書かれていますが、まさに「西部総合処理センターの竣工から二十数年経過しているということ、あるいは東部と一体化してさらに効率化を図るとされていることなどを勘案しますと、事業の目的・内容については妥当である」ということでよろしいかと思いますが、よろしいでしょうか。評価シートへの記載内容について、再度申し上げますと、「西部総合処理センターは竣工から二十数年を経過していること」、「やがて耐用年数を迎える東部総合処理センターと統合して効率化を図ろうとされている」、「効率化を図ろうとされていることなどから、妥当である」と。先生方がいかがでしょうか。「事業の目的・内容は妥当である」と入れていただいたほうが、分かりやすいでしょうか。

委員 異論はありません。

会長 では次に進ませていただきます。

二つ目の「環境効果」のところです。

委員 学習教育の環境は大分良くなるという理解です。最近ごみ焼却施設も割とそういうものを求められているので。予約がなくてもという話はあったと思うのですが。

担当課 内容としては、事業者からの提案にもよりますが、そういった自由に見学できるような身近に感じていただけるような施設であることを要求水準としています。技術としてはVRであったり、3Dであったり、そういった技術を導入していただきたいという風に定めています。

会長 1点すみません。先ほどお聞きするのを失念していたのですが、様式1号の一番下「資源循環」というところはチェックが入らないのですか。何かここにチェックつけられなかった理由があれば教えてください。

担当課 以前、こちらの委員会にて破砕選別施設をご審議いただきましたが、そちらのほうは資源循環のイメージが強いかと考えております。それに対してというところで、「低炭素」のほうにチェックをつけたところ です。

会長 そうですか。はい、分かります。そういう整理とのことでしたら。

「環境効果」につきましては、これは○、◎のどちらかだと思いますが、その辺りの加減が難しい。先生、こういう計画でいきますと。

委員 ◎でいいかなと。

会長 はい、では◎とさせていただきたいと思います。この理由が少々難しいのですが、先生にお聞きして恐縮ですが、どういう風にか書けばよろしいでしょうか。

委員 低炭素の部分は、おそらく先ほど発電とか、余熱利用のところ、エネルギー回収率23%というのは今交付要件にはなっているのですが、現状の13%というところが大幅に熱利

用をされようとしているので、低炭素の効果として、改善されることによって大きくそのエネルギー回収率の向上が見込まれるという点は、挙げられるかと思います。

会 長 そういうことを考慮した計画がなされているという形でまとめるのはいかがでしょう。

委 員 「発電及び余熱利用の面において、現状よりも」。エネルギー回収率は熱も入れてなんでしようかね。「現状のエネルギー回収率の改善が見込まれる」か、「なされている」・・・。

会 長 「改善が見込まれるなど、環境効果の大きな計画がなされている」。勝手に補足しましたが、先生いかがでしょう。

委 員 大丈夫です。

◎なのですが、先ほどの「提案・留意事項」のところは、環境学習の内容等が未定ということですよ。であれば、「施設における環境学習の機能については、配慮いただきたい」というぐらいの表現でしょうか。最近非常に求められていますので。いろんな施設更新の際に、必ず言われます。

会 長 それはぜひ加えていただきたいと思います。こんな形でよろしいでしょうか。

様式2号の「事業の年度別計画（経費）・効果」とあります。ここは、いかがでしょうか。先生方からもいろいろご意見も出ましたし、だからといって改善を要するというものではないと思いますが、一方で、事業費がかなり高額であること、あるいは1 tあたりの費用、事業費についても、ほかの平均値よりも少々大きいということもありますので、○ということはいかがでしょう。

委員一同 はい。

会 長 その理由としてはどうでしょうか。

委 員 大きいのはやはり事業者選定のプロセスでしょう。

会 長 はい。そうですね。

委 員 どのぐらいの事業者が応募してこられるのか、期待されているのかということもありますし、ほとんどここでプラントと建屋の金額が決まるのだと思います。それと、オペレーションが一部入ってくるということでしたが、審査プロセスの中で、予定価格等、できるだけ下回る形で業者決定していただくという課題が残っていますので、それについて当然のことですけれども、十分な対応をしていただきたいということじゃないかと思います。

会 長 ありがとうございます。これは、「提案・留意事項」へいただきたいと思います。貴重なご指摘いただきましたので。

委 員 左側の欄については、対象の2施設を1施設に集約するか、2施設のまま維持するかということとの比較だと思うので、「2施設を集約することによる経済効果は期待できる」などいかがでしょうか。

会 長 わかりました。理由のところには、今おっしゃってくださった内容を。右側は先ほどいただいたご意見を私なりの表現で言いますと、「事業者決定プロセスにおいて事業者側の費用を精査する」か、もしくは「適切に審査することに留意されたい」ということでしょうか。

委 員 はい。要はそういうことですよ。

会 長 よろしいですか。ありがとうございます。

では続きまして、下の項目、「事業予測・説明責任に対する評価」というところで、ここは

もし何もなければ「特になし」でもよろしいかと思うのですが、評価委員会の評価としては、現地視察及び自己評価シート様式1に、様式3を踏まえて見解をとということです。

最初に「必要性」。これは先ほど上にもありましたように、「自己評価シートに記載のとおり」程度でよろしいかと思うのですが。必要性について否定するものでもありませんし、我々から特にこういう視点も必要だということもなからうかと思しますので、「自己評価シートに記載のとおり」、あるいは「特になし」か、どちらかだと思うのですが先生方いかがでしょうか。

委員 書くとしたら、「安定的・効率的に処理を継続するためにも必要」とかでしょうか。

会長 なるほど。はい、ありがとうございます。「安定的・効率的に処理を継続するためにも必要である」と。こういう形でよろしいでしょうか。

会長 次に、「合理性」です。合理性については、様式3号の書きぶりを見ますと、単独で実施するよりも、東部の焼却施設を集約するため合理的であるというようなことかと思えます。2施設集約したほうが安価になるということです。耐用年数が迫っているため、合理的であるということまでは言わなくてもよろしいですね。ではここは「自己評価シートの記載のとおり」でいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

会長 次の様式3号の真ん中の大きい部分の「事業計画の効果」の「位置」「規模」「構造」の大きな3つの項目ですね。左から2列目の「位置」「規模」「構造」、これについての評価委員会の見解ということですが、位置については、何もないですね。他が良いという意見はないと思います。

委員 高潮ハザードマップによる浸水地域ということで、浸水対策が必要であると書いてあるのですが、具体的には浸水対策というのは、どういうものを考えておられるのでしょうか。

担当課 まず、高潮のレベルですが、現況の地盤で1メートルぐらい高いところが浸水区域になりますが、まずごみ処理に必要な主要な機器の駆動部、電源などそういったところを1メートル高潮のレベルより高いところに持っていきます。電気室や非常用発電機室など、そういう部分は2階以上に持っていくような対策をメインに考えております。

委員 分かりました。

会長 関連して素人的な質問で恐縮ですが、ごみの集積スペースには水が入らないのですか。

担当課 プラットフォーム自体、今回計画では2階に配置しております。

会長 既存のではなく、新しい施設はということですね。

担当課 現存施設も2階です。

会長 そうなのですね。分かりました。失礼しました。

会長 では、今のご指摘も踏まえて、「位置」「規模」「構造」のところは、規模については、先ほどもご指摘がございましたが、問題ないとみていかがでしょうか。

委員 どうでしょう。先ほどの質問は、規模が足りるか、というようなニュアンスの質問だったのですが、一般的に廃棄物の審議会とかだと、そこまで減量がしっかり進められかという懸念も逆にありますので。減量について、適切に計画通りに進まないと、処理施設よりも多いごみが発生することになってしまうので、特に問題があるわけではないのですが、何か留意事項らしく、「ごみの減量対策についてはきちんと推進していただきたい」など。そういうも

のが前提での計画なので。

会 長 なるほど。

委 員 減量については、担当課ではないですよ、別の計画だとは思いますが。

会 長 それは例えば、「今後人口減少によりごみの総量が減る傾向にあるが」……。今、先生がおっしゃったごみの減量化というのは、1戸1戸の家庭で排出したという話ですよ。

委 員 そうです。1人当たりの排出量が減る前提で計画を立てているので、今のレベルから何割か減っているという前提での容量設計が適切に進まないといけないという話です。施設側というよりは、市民の方にきちんと減量に取り組んでくださいということ、そういう対策に取り組んでくださいと。

会 長 では、「一人当たりのごみの減量対策について、市民啓発なども含め、取り組んでいただきたい」と。勝手に付け加えてしまいましたが、よろしいでしょうか。特に前半部分など。

委 員 いえ、良いと思います。

会 長 あと構造的には、今のままでよろしいですよ。特にこちらから何か言うことはないですね。

会 長 よろしければ次、「社会性」「環境保全性」で、先ほどの様式3号の下から3つ目と2つ目のところ。これも特によろしいですか。

委 員 先ほど上でも言ったとおり、環境学習の現場の出入りと同じかなと。

会 長 はい。ここのところはどうしましょう。「自己評価シートの記載のとおり」でよろしいですか。

委員一同 はい。

会 長 最後に、「機能性」。これは議論にはなかったですが、ユニバーサルデザインがここに該当するのでしょうか。防災性については、上のほうが二次避難場所になるなどでしたでしょうか。災害時の防災拠点という意味では何かありましたでしょうか。

委 員 1つは、スペースを仮置き場にするという話がありました。

会 長 仮置き場にするがありますね。ですからこれも「自己評価シート記載のとおり」でよろしいですか。

委員一同 はい。

会 長 何か付け加えることがあればどうぞ。

委 員 破碎選別施設からどうしても距離が遠くなってしまいうのは気になるところです。これはもう計画上仕方がないので、問うべきことではないとは思いますが。次の施設更新の時に議論すべきだと思います。特に書かなくてもいいと思いましたが、機能性については、そこが最初に思い浮かびました。

会 長 そうですね。むしろ位置というところかなという風な気もしました。

委 員 そうですね。

会 長 どうしましょう。加えましょうか。

委 員 いえ、今回、この枠組みの中では、近くにすることはできないので、2か所を1つに集約するということがのほうが、非常に効果があるということで理解します。

会 長 ありがとうございます。では、そのようにさせていただきます。反対意見があれば書くこと

となっておりますが、これはございませんね。「なし」とさせていただきます。

会 長 最後に様式7号の一番下ですが、本件に関しまして、「1：計画通りの実施が望ましい」、「2：計画の一部見直しが望ましい」、「3：計画の大幅見直しが望ましい」、「4：実施の見送り、中止が妥当である」とありますが、これは1番でよろしいですね。

委員一同 はい。

会 長 総合的な意見ということですがけれども、「市民生活において必要不可欠な施設であり、施設の老朽化とあるいは2施設の集約と、適切で合理的な計画がなされており、計画どおりの事業実施が望ましいと考える」と。「計画どおり」の表現は控えておきましょうか。「計画に従って事業を進めていただきたい」にいたしましょうか。「計画に従って事業を進めていただきたい」。勝手に申し上げましたが、いかがでしょうか。

委 員 異論ないです。

委 員 私も同じです。

会 長 はい、ありがとうございます。ではこれで、この事業評価シートにつきましては、一通り記入ができました。

会 長 今日は先生方どうもありがとうございました。